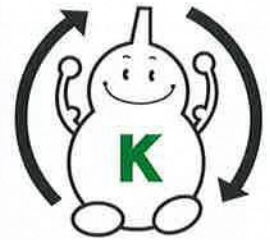


ごみジャーナル

No.46

発行／ごみ問題を考える草津市民会議

編集／広報委員会



クルリーナちゃん
(ごみ問題のキャラクター)

ごみ問題を考える草津市民会議会員研修

日時：平成30年12月6日（木）

研修先：パナソニックエコテクノロジーセンター株式会社
(兵庫県加東市佐保50番地)

兵庫県の米どころ加東市佐保、お酒の山田錦で有名な田園風景の中に建つこの会社は、外見だけでは何をする会社かは分かりません。それというのも建物の外には廃棄物のかけらも見当たらず、きれいなオフィスにしか見えないからです。さすがパナソニック100%資本の会社であり、徹底した管理体制を執っていることがうかがえます。



家電リサイクル法に基づく使用済家電を、最先端の技術を用いて再資源化（リサイクル）する工場で、運ばれてくる家電のリサイクル率は90%を超え、資源循環型モノづくりの日本を代表する会社との事です。

観て、聞いて、ふれて、学べる工場の中は、2階の通路より家電ごとの作業現場が見学でき、ベルトコンベアーを流れる大きな冷蔵庫が観ているうちに分解され、夫々の資源へと分けられていきました。

また、ヘッドホンより案内の方の説明もよく聞こえるように気配りされており、ミニチュアの機械を用いた体験や、研修室での説明等、どれを取っても素晴らしい環境の中の作業を見学して、リサイクルの大切さを実感しました。



また、見学の最後には下記のような無許可業者による使用済み家電の違法回収が引き起こす環境破壊などについてもお話しされ、適切な処分の重要性を改めて感じました。

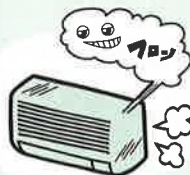
無許可の回収業者の利用はやめましょう!!

使用済み家電を無料で回収してくれる業者のほとんどは、法律に基づく許可を得ていない「無許可」の業者です!! 「無許可」の業者に引き渡すと、法を守った適切な処理がされず、以下のような危険があります。

お金になる部分だけ取り、残りを不法投棄されます。



環境対策を行わず処理し、フロンガス等の有毒物質が大気中に放出され、地球環境が悪化します。



不適切な管理により火災等が発生します。



また、「無料」と言っていたのに、荷物を積み込んだ後に「全てが無料ではない」と高額な費用を請求してくる、悪質なケースもあります。



市内散在性ごみ一斉清掃



各町内会や各種団体のご協力を得て、昨年(2019年)の11月25日を中心に市内散在性ごみ一斉清掃を実施しました。市内14箇所の小学校に設けた回収拠点でのごみの総量は、ごみ袋2,494袋、トラック21台分。

近年集められるごみの量が減っているのは、確実に地域清掃が行き届いてきている証と言えます。

多くの方のご協力を得ながら一斉清掃を実施する意義は、私たちの街を自らの手で美しい環境に維持していく活動を、一人ひとりの行動に深化させていくための、気づきの場とすることでもあります。

ご協力いただきありがとうございました。



各地域のふれあいまつり等で ごみ減量啓発に取り組めました!!



今年度も、9月22日の草津学区を皮切りに、10月から11月にかけて各地域で開催されたふれあいまつり等に参加しました。

ごみの分別の啓発活動として、正しいごみの出し方や間違ったごみの出し方などが書かれた、たくさんの中からごみの減量に繋がる的を狙う「ごみ減量射的」を出展し、正しい的はどれか親子で話し合いながら射的をする家族連れや、友達と相談しながら正解の的を狙っている子どもたちの姿も多くみられました。また挑戦者の方には、素敵な3010運動^{プラス}のマイバッグなどをプレゼントしました!

どの地域のふれあいまつりにおいても、子どもたちを中心に楽しみながらごみの減量について学んでいただく良い機会となりました。

ふれあいまつり等のイベントに参加することで、普段はあまり意識せずとも、この時だけでもごみの減量について少しでも意識し、私たち一人ひとりがごみを減らすにはどうしたらよいのだろうと考えるきっかけとなれば良いなと思っています。

今後とも各地域のみなさんのご協力をよろしくお願いいたします。



段ボールコンポストの利用者にインタビュー!!

～段ボールコンポストで地域のつながりづくりを～

生ごみ処理容器の一種で、段ボール箱を利用し、堆肥にすることもできる「段ボールコンポスト」を活用して、地域のつながりづくりと環境美化に取り組む『御林山いきいきサロン』の皆さんにお話を聞きました!

きっかけは?

平成27年に、市役所でごみの減量手法として紹介されていた「段ボールコンポスト」を知り、同年8月から、有志10名が段ボールコンポストを活用して、生ごみを自然に還す取組を始めました。

現在は、サロンに3つある部会の1つとして、段ボールコンポスト部会を立ち上げ、月2回程度さまざまな企画をしながら楽しく取り組んでいます。

段ボールコンポストの感想をどうぞ

ごみとして出していた生ごみを減量することができており、臭いの軽減とごみ出しの手間も減っています。

また、できた堆肥を自宅の家庭菜園や地域の花壇に活用しており、花の色がとても鮮やかになるといった効果をみんなが目で見ても実感できることも、段ボールコンポストを継続できているポイントです。

今後も段ボールコンポストを通じて、生ごみの減量や自分たちの住む場所を美しくするとともに、人と人のつながりづくりを続けていきたいと思います。



※ごみ問題を考える草津市民会議のオリジナル段ボールコンポストを、くさつエコスタイルプラザ(草津市立クリーンセンター2階)で好評発売中!

(1セット500円)



クリーンセンターが新しくなり便利になりました

●家庭ごみの持込可能日・時間が変わりました。

毎週月曜日から土曜日(祝日も可)

※ 年末年始は休場

午前8時30分から午後4時まで

※ 正午から午後1時は休場

●クリーンセンターへ持ち込む場合の、粗大ごみの処分手数料が変わりました。

従量制の料金

○1回の搬入量が200Kg未満…10Kgあたり110円

○1回の搬入量が200Kg以上…10Kgあたり170円

※ただし、粗大ごみ収集のお申し込みをされる場合は、従来の点数制の料金分の粗大ごみ処理券をお買い求めいただく必要があります。

※ ごみの種類ごとに必ず分別して持ち込んでください。ただし、家電リサイクル法対象品目や処理困難物は受け入れできません。

※ 運転免許証などの公的証明書で、草津市在住の確認をさせていただいております。

※ 年末や年度末など混雑が予想される時期は、お時間に余裕を持ってお越しください。

スプレー缶・カセットガス缶等は正しく処理しましょう!

昨年、北海道でスプレー缶の不適切な処理に伴う大きな事故が発生しました。不適切な処理を行うと火災や爆発事故の原因となり大変危険ですので、草津市のホームページや下記の内容を十分確認していただきますようお願いいたします。

●缶の中にガスが残っていないか確認する

ガスが残っていると『チャプチャプ』や『シャカシャカ』といった音がします。

●火の気のない風通しのよい屋外で缶の中のガスを抜く

缶のボタンを『シュー』という音がしなくなるまで押してガスを抜きます。(穴あけは不要です。)缶によってはガスを抜く機能の付いた缶もありますので、缶に書かれた説明に沿ってガスを抜いてください。

●空き缶類の日にごみを出す

ガスを抜いた缶は空き缶類の日に出してください。



お問い合わせ
草津市資源循環推進課
TEL: 077-562-6361



マイクロプラスチックとSDGs

レジ袋が有料でも提供禁止の条例制定をする都市が出現しています。また折から各企業が施策を打ち出しているSDGs※では、14番目に“海の豊かさを守ろう”の目標があり、環境省のプラスチック・スマートキャンペーンでは、この目標に関して“海洋・海洋資源の保全に向けたあらゆる種類の海洋汚染を防止し、大幅に削減する”とされています。

海洋プラスチックごみの中でも5mm以下のマイクロプラスチックは、昨今、魚が飲み込んでしまう事で注目されていますが、最近の研究では洗顔料やボディソープに含まれているものもあり、更には走行中の自動車のタイヤの摩耗や洗濯時の合成繊維の剥がれ落ちでもマイクロプラスチックが発生しているとのこと。

私達は日常生活の中で知らず知らずにマイクロプラスチックを作り出していることになります。

これからも、マイバッグの携行継続でレジ袋等のプラスチックごみ減量とごみ分別厳守の再認識が肝要です。



※SDGs (Sustainable Development Goals : 持続可能な開発目標)

2015年9月の国連サミットで採択された、2030年までの国際開発目標。17の目標と169のターゲットから成り、格差の問題、持続可能な消費や生産、気候変動対策など先進国が自らの国内で取り組まなければならない課題を含む、全ての国に適用される普遍的な目標。

事務局

【広報委員】

- ・松村 幸子・山本 正行・木村 兼久
- ・川瀬 善行・太田 信一・清水 節子
- ・油布 輝義・富山 康夫・山口 尚孝

TEL (077) 561-6580
 FAX (077) 561-6583
 E-Mail : ecostyle@city.kusatsu.lg.jp

ごみジャーナル第46号についてのご意見、感想をお気軽に左記までお寄せください。
 〒525-0043
 草津市馬場町1200番地25
 草津市役所くさつエコスタイルプラザ内
 「ごみ問題を考える草津市民会議」
 広報委員会

編集後記

年末、年始を通して3010運動+に取り組みいただきありがとうございました。今回のごみジャーナルは、ごみ減量の推進で掲げているテーマの実践や研修会など「みんなで取り組む運動」の一助としてお伝えすべき情報を拾い集めてみました。新しくなったクリーンセンターの見学も新たな学習の場となってきたことは嬉しいことです。ごみの減量は多くの人たちに関心を寄せてくださることで前に進めることができます。これからも宜しくお願いします。

新規会員募集

ごみ問題を考える草津市民会議では新規会員を募集しております。

ごみの分別や集積所、街に散乱しているごみ等が気になる方、ごみに関する問題に興味のある方、人とお話することが好きな方等大歓迎！

市民のみなさんに「リサイクル」や「ごみ減量」を広める活動を一緒にしませんか。

詳しくは事務局までお問合せください。



＜申込み・問合せ先＞

ごみ問題を考える草津市民会議事務局
(草津市くさつエコスタイルプラザ)

TEL077-561-6580、FAX077-561-6583